

第54回東村山市市民体育大会

少年軟式野球少年部大会

【実施要綱】

- ◎主 催 東村山市教育委員会
◎後 援 (公社)東村山市体育協会
◎主 管 東村山市少年軟式野球連盟

1. 大会期日 平成30年3月11日(土)～3月18日(日)
2. 大会形式 予選リーグ、決勝トーナメント方式
3. 監督会議 平成30年2月18日(日) 17時15分 市民センター
4. 大会会場 運動公園
5. 参加資格 市内中学校、連盟登録クラブチーム
 - ・1チーム20名以内(但し上回る場合はこの限りでない)
 - ・2チーム以上登録の場合は、1チーム10名以上とする
 - ・二つ以上のチームの選手であっても同一チームとして参加を認める。ただし一方のチームの選手が10名以下の場合とする。
6. 大会要綱 連盟ホームページに掲載

- 大会役員
- | | | |
|-------|--------|-------------------|
| 大会会長 | 奈良 吉彦 | (東村山市少年軟式野球連盟会長) |
| 大会副会長 | 瀧澤 繁治郎 | (東村山市少年軟式野球連盟副会長) |
| 大会副会長 | 大山 紀二 | (東村山市少年軟式野球連盟副会長) |
| 大会顧問 | 土方 桂 | (東村山市少年軟式野球連盟顧問) |

- 大会運営役員
- | | | |
|--------|---------------------------|-------------------------|
| 大会委員長 | 市川 俊二 | (東村山市少年軟式野球連盟理事長) |
| 大会副委員長 | 加藤 清 | (東村山市少年軟式野球連盟副理事長) |
| 大会副委員長 | 村野 仁 | (東村山市少年軟式野球連盟副理事長、事務局長) |
| 【運営部】 | 花北 勝幸 | (東村山市少年軟式野球連盟常任理事) |
| | 山田 一路 | (東村山市少年軟式野球連盟常任理事) |
| | ※ 連盟理事 | |
| 【審判部】 | 伊藤 雅一 | (東村山市少年軟式野球連盟常任理事、審判部長) |
| | 宮内 敬臣 | (東村山市少年軟式野球連盟常任理事) |
| | 柏崎 真一 | (東村山市少年軟式野球連盟常任理事) |
| | ※ 連盟「審判委員」、理事及び連盟「登録審判委員」 | |

【大会要綱】

1. 試合の準備
 - (1) 集合 試合チームは試合開始予定時刻の30分前までに指定された球場に集合する。監督・主将は30分前に本部にメンバー表を提出し試合責任者の承認を得る。
 - (2) 審判員 ①審判員は、審判服を着用しなければならない。
②第一試合の審判員は、試合開始前1時間前に集合し準備する。
③審判員は、試合開始予定時間の30分前に本部に集合し、試合責任者、監督・主将と共にメンバー表、ローカルグラウンドルールの確認を行う。
④審判員は、試合開始までに次の事項の行う。
■ラインの引きなおし ■用具の点検 ■審判ポジション確認
 - (3) 試合責任者 連盟理事が行う。
 - (4) 攻守の決定 試合開始30分前に球審の立会いのもと、主将のジャンケンにより決定する。
2. 適用規則 最新年度の公認野球規則、全日本軟式野球連盟競技者必携及び大会会場のローカルルールを適用する
3. 大会規律 不正出場、その他規律違反に対しては全日本野球連盟規程細則により処理する。
4. 用具の指定
 - (1) 試合球 JSBB 公認B号球(少年部)を使用し、対戦両チームにて準備する。
(試合球はケンコーボールとする)
 - (2) 用具 全て JSBB 公認用具に限る。
ただし、安全規格マークのあるフルフェイス型のマスクは使用可
 - (3) 禁止用具 素振りリング、鉄棒
5. ベンチ・シートノック
 - (1) ベンチ 組み合わせ番号の若い番号のチームを一塁側とする。
 - (2) 人員 ベンチ入りできる人員は、次のとおりとする。
【選手】ユニフォーム着用のメンバー表記載選手
【指導者】代表、監督、コーチ2名、スコアラー1名の計5名以内
 - (3) 監督 登録された背番号30番を着用する。
代理監督の場合は、メンバー表提出時に必ず申し出る。
 - (4) コーチ 登録された29番・28番を着用する。
 - (5) 選手 主将は10番とし、登録された0番から27番、31番から99番とする。
 - (6) シートノック シートノックは、次のとおりとする。(ノッカーはユニフォーム着用)
・後攻チームから時間内で行う。状況により行わない場合もある。

6. 試合

- (1) 競技場の区画 全日本軟式野球連盟の規格とする。
- (2) 試合規定 次のとおりとする。
- ①規定回数 7回戦とする。
 - ②1時間40分を超えて新しい回に入らない。
決勝戦は試合時間に制限を設けないで行う。
 - ③試合成立 4回または時間制限の均等回
 - ④コールド試合 3回以降10点差、5回7点差
(決勝戦も同様とする。)
 - ⑤試合成立後、審判が試合続行不可能と判断した場合これを適用する。
 - ⑥天候不良等により、試合続行が難しい場合の判断は、球場責任者及び審判団で協議してきめる。(確認事項)
 - ⑦規定回数及び試合時間内で同点場合特別延長試合を次の要領で行う。
 - 無死満塁からの試合開始とする。
 - 打者は、最終回最後の打者の次打順の選手とし、以下打順は継続する。
 - 走者は前位の打者から一塁走者とし、順次前位の打者を二・三塁走者とする。
 - 選手交代はできるが、その試合から退いた選手は再出場できない。
 - 時間制限を設けず、9回まで行う。
- (3) タイム制限 守備側
捕手を含む内野手が1試合に投手の所に行ける回数を7インニングの試合にあっては3回以内とする。なお、延長戦となった場合は1インニングに1回行くことが出来る。
- 攻撃側
1試合に3回以内とする。なお、延長戦は1インニングに1回とする。
タイムは1分以内を限度とする。
- (4) 監督が投手の所へ行く回数制限
監督が投手の所へ行ける回数は3回以内とする。延長戦となった場合は1インニングに1回とする。
投手の所に行く場合、同一インニングに1回とし、2回目は投手交代とする。
- (5) ヘルメット 打者、次打者、捕手、コーチは、必ず着用する。
- (6) 抗議 当該選手と監督のうち1名に認められる。
- (7) 妨害行為 試合中、試合の妨害・言動をした者に対して、当該審判及び本部はその当事を退場させることができる。
- (8) 挨拶 試合開始・終了時に球審の号令により全員が整列して行う。
この際、監督等の指導者もベンチ前に整列し挨拶を行う。これが、全ての挨拶であり相手ベンチ前にいってのお互いの挨拶や打席に入る際の挨拶は不要である。
- (9) 特別ルール フェンス等囲いのないグラウンドを使用の際、「ボールデットライン」を引き実施する場合は、試合責任者(連盟)に一任する。

7. 予選リーグ同率の場合の順位決め方法

得点率－失点率で数値が大きい順に順位を決める

- ・得点率＝総得点÷イニング回数
- ・失点率＝総失点÷イニング回数

8. 応援者＜特別要請＞

- ・ 鳴り物等は使用しない。また、それらによる華美な応援はしない。
- ・ 野手を野次ったり、審判の判定に抗議するような言動は慎むこと。
- ・ 投手が投球動作に入った場合は、ボークを誘う行為は絶対しないこと。
- ・ バックネット裏や相手のベンチサイドからの応援はしてはならない。
- ・ 写真やビデオ撮影は、応援席にて行うこと。また、写真のフラッシュは禁止する。

9. 球場使用上の注意事項

- ・ 球場内の施設や器物に損傷を与えぬよう注意すること。
- ・ ゴミやその他、持ち込んだものは、責任をもって持ち帰ること。
- ・ グランド内を含む施設内は全て禁煙・飲食禁止です。但し、指定の場所に限り飲食を認める。
- ・ 学校等の場合、グラウンド・通路・トイレ以外の学校施設内に立ち入らないこと。

10. 雨天時の確認方法

- ・ 午前7時に判断する。確認先は、中学校顧問および連盟メールにて。

11. 事故責任

- ・ 試合中及び球場への移動間の事故については、主催者及び連盟は一切責任を負いませんので、スポーツ安全保険等への加入を各チームにてお願いします。

■ 少年部二つ以上のチームの選手であっても合同チームとして参加を認める。(抽選会前に事前申請)